

痛みのアセスメントの一例

- **右上腕痛** (NRS3~4:体動時8~10)
 - 骨転移、病的骨折 (体性痛:体動時に増強)
- **腰痛** (NRS3~4:体動時8~10)
 - 腰椎転移 (体性痛:体動時に増強)
 - 肝転移 (内臓痛)
- **左側腹部痛** (NRS4)
 - Th12転移による神経根症状 (神経障害性疼痛)
 - 創部の慢性痛 (神経障害性疼痛)
- **両側大腿外側部痛**
 - 腰椎転移による脊髄圧迫 (神経障害性疼痛:進行性)

PEACE

痛みのマネジメントの一例…

- オキシコドン徐放性製剤にオピオイドの種類を変更
- オキシコドン徐放性製剤を40mg/日に増量
- レスキューの追加:オキシコドン速放性製剤5mg
- 鎮痛補助薬の開始:プレガバリン50mg/日
 - 少量眠前から開始、効果と眠気のバランスを見て調節
- ロキソプロフェンをセレコキシブ200mg/日に変更
- 副作用対策:抗潰瘍薬、緩下剤、制吐薬など

PEACE

…痛みのマネジメントの一例

- 放射線照射 (右肩、腰部に3Gy×10Fr)
- デノスマブ120mg/4週の投与
- 外科的な処置は、全身状態や予後を考えて行わないこととした

PEACE

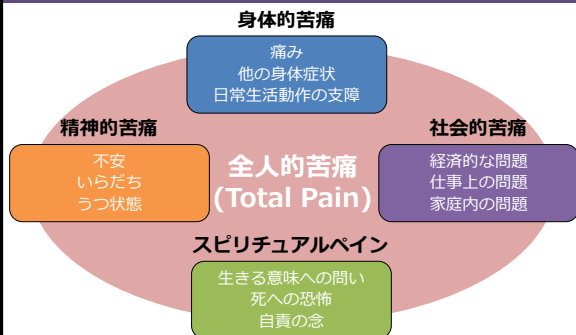
その他に

- 動作前 (30~60分) のレスキュー薬使用
- 痛みがでない姿勢や移動の工夫
- コルセット、アームスリング (もしくは三角巾+バスタバンド固定)
- 温罨法:側腹部、腰部
- リラックス、気分転換
- 不安に対する支持的介入



PEACE

全人的苦痛



PEACE

身体症状以外の問題点

本人にとって

- しっかりとした病状説明のない状態での今後の見通しに対する不安
- 下肢の症状の出現や進行による不安
 - 趣味や仕事の喪失
 - 家族の負担になるのではないかと、家での生活ができなくなるのではないかと不安

PEACE

身体症状以外の問題点

医療者にとって

- 本人や家族への適切な状況説明と今後の意向の確認
 - 治療や療養についての意向（本人、家族）
 - 本人と家族の意思疎通の状況
- 介護力に関する情報
- 経済的問題の有無

まとめ

- がん疼痛を適切に評価し、それに基づいたマネジメントを行うことが重要である
- がん患者の全人的な苦痛に配慮することが必要である
- がん疼痛への対処をチームで行うことが重要である

補助スライド

その後…

- 病状説明に対する希望を本人に確認したところ、病状をすべて知ったうえで医療者や家族と相談して今後のことを決めたいと考えていた
- 病棟チームと協働して本人、家族に正確な病状説明を行うことを目的に面談を行うこととした
- 面談の席で、主治医から正確な病状の説明が行われ、本人、家族が今後の治療や療養について、どのような希望を持っているかを尋ねた

…その後

- 患者は病状を現実的に受け止め、家族も協力的で、可能な範囲で在宅での療養を希望した
- 院内緩和ケアチームの支援を受け、訪問診療、訪問看護、訪問介護の手配と緊急時の入院先確保などを行い、退院された
- 毎日娘と孫の訪問を楽しみに過ごしている

グループワーク

- グループ内で**三役**を決めましょう
 - 1) **司会**：ディスカッションの進行役
メンバー全員が意見を出せるように配慮
 - 2) **書記**：ホワイトボードに書く
意見も述べてください
 - 3) **発表者**：全体発表の場で発表する